

カリキュラムマップ（機械工学専攻）

（１）博士前期課程（修士課程）

修士課程ディプロマポリシー(DP)

DP1：高度な専門知識と技術を身に付けていること。

DP2：研究内容を自身の言葉で論理的に説明できる能力を身に付けていること。

DP3：真摯な態度で学術全体を俯瞰し、地球環境等に配慮できること。

授業科目	DP1	DP2	DP3
弾性学特論	○	○	△
応用塑性学特論	○	○	
応力解析特論	○		△
材料強度学特論	○		△
衝撃破壊工学特論	○		△
金属材料学特論	○		△
鉄鋼材料工学特論	○		△
耐熱材料特論	○	○	△
非金属材料特論	○		△
複合材料特論	○		△
航空宇宙材料特論	○		△
応用熱力学特論	○		◎
燃焼工学特論	○		◎
伝熱工学特論	○		△
熱動力特論	○		○
流体力学特論 1	○		△
流体力学特論 2	○		△
流体機械特論 1	○		△
流体機械特論 2	○		△
熱・反応流体特論	○		△
機械力学特論	◎		△
制御工学特論	○		△
プロセス制御特論	○		△
機械音響工学特論	○	△	◎

授業科目	DP1	DP2	DP3
精密工学特論	○	○	○
人間・感性工学特論	◎		○
航空機設計特論	○		△
宇宙飛行体特論	◎		○
精密機械特論	◎		△
数値解析法特論	○		△
資源環境物理学特論	○		◎
極地環境学特論	○		◎
環境エネルギー技術戦略特論	○		◎
機械技術英語特論		◎	△
機械振動学特論	○		△
摩擦の原子論特論	○		△
機械工学特別研究1	○	◎	△
機械工学特別研究2	○	◎	△
機械工学特別実験1	◎	○	
機械工学特別実験2	◎	○	

◎DP達成に特に重要、 ○DP達成に重要、 △DP達成のために望ましい

(2) 博士後期課程

博士課程ディプロマポリシー(DP)

DP1：高度な専門知識と技術を身に付けていること。

DP2：研究内容を自身の言葉で論理的に説明できる能力を身に付けていること。

DP3：真摯な態度で学術全体を俯瞰し、地球環境等に配慮できること。

DP4：高度な研究企画力

DP5：自立して研究・開発を実践でき、技術者・研究者として活動できる。

授 業 科 目	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
機 械 工 学 発 展 ゼ ミ ナ ー ル	○		△	△	
ヒューマンロボティクス特別研究 1・2・3	◎	◎	△	◎	◎
ヒューマンロボティクス特別実験 1・2・3	○	○	○	◎	◎
ヒューマンロボティクス特別研究 1・2・3	◎	◎	△	◎	◎
ヒューマンロボティクス特別実験 1・2・3	○	○	○	◎	◎
マテリアルプロセッシング特別研究 1・2・3	◎	◎	○	○	△
マテリアルプロセッシング特別実験 1・2・3	◎	◎	○	○	△
マテリアルプロセッシング特別研究 1・2・3	◎	◎	○	○	△
マテリアルプロセッシング特別実験 1・2・3	◎	◎	○	○	△
環境・エネルギー特別研究 1・2・3	◎	○	◎	○	◎
環境・エネルギー特別実験 1・2・3	◎	○	◎	○	◎
環境・エネルギー特別研究 1・2・3	◎	○	◎	○	◎
環境・エネルギー特別実験 1・2・3	◎	○	◎	○	◎
航空宇宙熱流体特別研究 1・2・3	◎	◎	△	◎	◎
航空宇宙熱流体特別実験 1・2・3	◎	○	△	◎	◎
航空宇宙熱流体特別研究 1・2・3	◎	◎	△	◎	◎
航空宇宙熱流体特別実験 1・2・3	◎	○	△	◎	◎
材料物性・強度特別研究 1・2・3	◎	◎	△	◎	◎
材料物性・強度特別実験 1・2・3	◎	○	△	◎	◎
材料物性・強度特別研究 1・2・3	◎	◎	△	◎	◎
材料物性・強度特別実験 1・2・3	◎	○	△	◎	◎
デジタルエンジニアリング特別研究 1・2・3	◎	◎	○	◎	◎
デジタルエンジニアリング特別実験 1・2・3	◎	○	○	◎	◎

◎DP 達成に特に重要、 ○DP 達成に重要、 △DP 達成のために望ましい